

修正番号単価の算定 【NTT東日本】

(1) H27. 7~12月の間で徴収すべき額を算出 (A東 - B東 - C東 = D東)

A東 徴収すべき負担金総額 ●補てん対象額 4,130,210,832円 + ●支援機関事務費 32,366,782円 = 合計 4,162,577,614円	B東 前年度過不足額 747,174,455円	C東 H27.1~6月 (算定月)間の 徴収見込額 ①H27.1月分 272,385,795円 ② H27.2~6月分 (予测算定対象電気通信番号の総数の合計適用) 1,376,870,619円 (1.19985713円 × 1,147,528,805番号)	D東 H27.7~12月 (算定月)間の 徴収すべき見込額 1,766,146,745円
---	--	--	---

(2) 修正合算番号単価に(1)の算出額を乗じた後、修正合算番号単価算出時に導き出したH27. 7~12月間の徴収すべき額で除する
 ($F \times D東 \div D = NTT東日本修正番号単価$)

F 修正合算 番号単価 2円	×	D東 H27.7~12月 (算定月)間の 徴収すべき見込額 1,766,146,745円	÷	D 修正合算番号単価の H27.7~12月(算定月)間 の徴収すべき見込額 2,941,280,261円
------------------------------------	---	---	---	---

= 1. 20093741 円

修正番号単価の算定 【NTT西日本】

(1) H27.7~12月の間で徴収すべき額を算出 (A西 - B西 - C西 = D西)

A西	B西	C西	D西
徴収すべき 負担金総額	前年度 過不足額	H27.1~6月 (算定月)間の 徴収見込額	H27.7~12月 (算定月)間の 徴収すべき見込額
<ul style="list-style-type: none"> ●補てん対象額 2,754,293,543円 <li style="text-align: center;">+ ●支援機関事務費 21,584,278円 <li style="text-align: center;">= 合計 2,775,877,821円 	500,912,725円	<ul style="list-style-type: none"> ① H27.1月分 181,644,589円 ② H27.2~6月分 (予測算定対象電気通信番号の総数の合計適用) 918,186,991円 (0.80014287円 × 1,147,528,805番号) 	1,175,133,516円

(2) 修正合算番号単価に(1)の算出額を乗じた後、修正合算番号単価算出時に導き出したH27.7~12月間の徴収すべき額で除する
($F \times D_{西} \div D = NTT西日本修正番号単価$)

F		D西		D
修正合算 番号単価	×	H27.7~12月 (算定月)間の 徴収すべき見込額	÷	修正合算番号単価の H27.7~12月(算定月)間 の徴収すべき見込額
2円		1,175,133,516円		2,941,280,261円

= 0.79906259 円